

まち連 NEWS

平成 27 年 6 月 第 2 号 発行：一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会

第4回中活協議会

4月30日に蕨商工会館において第4回目の蕨市中心市街地活性化協議会が開催されました。

同協議会は、『市中心街地活性化法』に基づき、蕨商工会議所と「市中心街地整備推進機構」(メモを参照)として蕨市長が指定した当蕨市にぎわいまちづくり連合会が、平成24年3月29日に共同で設置したものです。

中心市街地 活性化協議会とは

中心市街地のまちづくりには、地権者や商業者、市民やNPO、民間企業、交通事業者など、多くの関係者が関係することから、みんなで知恵を出し合い取り組む必要があります。

そこで同協議会は、多様な関係者の調整を図り、取り組みの実効性を確保し、多様な主体の合意形成の協議の場として、まちづくりを総合的に推進する役割を担っています。

会長は商工会議所会頭、副会長はまち連理事長が就任し、蕨市や各商店街、町会長や地域女性団体、市民ネット、学び合いカレッジ、公共交通機関などの代表 20 名で組織されているほか、関東経済産業局や埼玉県、中小機構などがオブザーバーとして参画されています。

昨年度は、蕨市が策定する『中心市街地活性化基本計画(案)』に対する協議会としての意見を取りまとめ、11月に市へ「意見書」を提出しました。

その後、蕨市では、パブリックコメントを実施し、内閣府へ最終申請。平成27年3月27日に認定を得ました。県内における同基本計画の認定は、川越市に続いて、蕨市が2件目です。

この日の協議会では、

これまで蕨市が内閣府に

申請していて、本年3月

27日に認定を受けるこ

とができた『蕨市中心市

街地活性化基本計画』の

推進に向けて、蕨市から

説明が行われるとともに、

平成27年度の主な行動

目標について、会員同士

で確認し、情報の共有が

図られました。

なお、この基本計画が

国の認定を受けますと、

私たちの中心市街地活性

化への取り組みに対して

国が集中的かつ効果的に

支援を行うことになって
います。

メモ

「中心市街地整備推進機構」

中心市街地のまちづくり

の主体として、ハード事業

を含むデイベロッパ的な

機能を担い、公益性と企業

性を併せ持つ事業を推進

するまちづくりの牽引役。

6つの行動目標

では、平成27年度事業のうち6つの行動目標についてご紹介します。

【1】「蕨宿 食」の交流
拠点整備事業」

推進主体は、当まち連で、平成28年度の事業実施に向けた実施計画の策定と事業化へ向けた参画団体の準備・調整等を行います。

【2】「東口コミュニティ・ショッピング道路整備事業」

推進主体は蕨市で、平成28年度の道路整備に向けた設計を行います。

【3】「平成28年度以降の“ぷらっと”の活用方法の決定及び実施体制の確立」

推進主体は、当まち連にぎわい創出への貢献と持続的な事業運営、事業内容、実施体制を検討し、構築します。

【4】「四季を味わう日曜日の夕べ交流会事業」

推進主体は、中心市街地区域内の8商店街で、調整は当まち連。区内の8商店街において、事業実施に向けた調整及び事業を実施します。

【5】「空き店舗有効活用事業」

推進主体は、蕨市、まち連、蕨商工会議所。これまででの事業をより戦略

的な業種業態の誘導やコミュニティビジネス事業としての創業支援など、更なる効果的な事業展開のための検討を行います。

【6】「わらびりん」ビジネス展開事業」

推進主体は、蕨市、わらびりんご生産管理団体、わらびりんごの会。わらびりんごを素材とした商品の販売を行うとともに、今後の展開に向けた検討を行います。

創業講座が終了く多くの人で賑わう

本年2月から5月まで、蕨市・商工生活室主催の「わらび創業講座」が開講されました。

この講座は、創業に向けた店舗経営の学習や食を通じたコミュニティ

イ形成などのほか、4、5月には「ぷらっと」で飲食を兼ねた店舗の運営を実践しました。

それでは、参加グループとその主な内容についてご紹介しましょう。

◎スモージーcafe 七色

午前中約3時間で8日間の営業。健康ブームと相まって、老若男女問わず飲みやすいとの評判。朝6時30分からの時間帯にもかかわらず105人のお客様。

◎かふえプラット

午前10時から午後4時、3日間。シフォンケーキや大人のプリンなど。86人が来店。

◎わらびお茶漬け本舗

9日間、モーニングとランチ。蕨市のB級グルメとしてもおなじみの蕨茶漬け。157人が楽しみました。

◎おやこカフェたね＊

親子カフェという言葉通り、親子連れはもちろん、中年女性にも気軽に立ち寄れる場として大人気。8日間で114組、大人178人、子ども41人が来店。

なお、おやこカフェの皆さんは、創業講座が終了後、6月にも6日間にわたり、「ぷらっと」で営業されました。地域にもしっかりと定着し喜ばれたとのことでした。

今後機会があれば、ぜひご利用いただきたく思います。

そのほか、創業講座の店舗経験には、「日本酒を楽しむ店・つなぐ」や店頭での物品販売を行った「山形、もがみの食市場」などにも多くの方が立ち寄り、好評を博していました。



放送終了後、毒蝮三太夫さんを囲んで

（編集メモ）
5月22日の金曜日、TBSラジオの毒蝮三太夫のミュージックプレゼントの生放送が、まち連事務所で行われました。
訪れた毒蝮さんは、福祉関係の大学で教えるほど、高齢者問題に造詣が深く、今回は、まち連の「くらしのサポート」事業の素晴らしさを全国に紹介したいとのことでした。
相変わらずの毒舌と博学には改めて脱帽。ポラントニアさんと終始笑いの渦で賑やかでした。